

2008. 12
No. 240

千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY
千葉県立中央図書館報



『成田山仁王門の景』



『成田山梅園の景』

資料散策 57

『成田山仁王門の景』『成田山梅園の景』楊堂玉英／画〔明治22年（1889）〕刊行

絵師楊堂玉英（弘化4生）が明治22～26年頃成田山を訪れ、写實的に境内の風景を描いたものです。彫師長谷川静退により出版されました。長谷川静退は碧玉堂と称し、成田山のお札なども製作しています。この作品には「成田山 わかまつ」と読める角印が押されています。

企画展

—大地震と県民の安全を考える—

展示期間 平成20年12月20日（土）から平成21年2月1日（日）
（※休館日は除く）



地震や地震に伴う津波について理解を深め、災害に備えるために、千葉県立中央図書館では「大地震と県民の安全を考える」と題した企画展示を、千葉県総務部消防地震防災課、千葉県県土整備部河川整備課及び千葉市消防局と協力して行います。展示内容の主なものを紹介します。

＜千葉県周辺の主な地震と県内での被害＞

年月日	M	震源地(地震名)	千葉県内での被害
1677 11 4	7.4	房総沖(津波地震)	ゆれは小さいが津波発生 死者100名以上
1703 12 31	7.9-8.2	関東南部・伊豆(元禄地震) (房総沖～相模湾)	死者6500名以上 津波発生
1782 8 23	7.0	相模・武蔵・甲斐(小田原地震)	
1853 3 11	6.7	相模・駿河・伊豆(小田原地震)	
1855 11 11	6.9	江戸(安政江戸地震)	死者20名、家屋全壊82戸
1894 6 20	7.0	東京府東部(東京地震)	
1895 1 18	7.2	茨城県南部	
1909 3 13	7.5	房総半島沖(房総沖地震)	
1915 11 16	6.0	房総半島	崖くずれによって負傷者5名
1921 12 8	7.0	竜ヶ崎付近	
1922 4 26	6.8	千葉県西岸(浦賀水道地震)	家屋全壊8戸、破壊771戸
1923 9 1	7.9	相模湾(関東地震)	死者1335名、負傷者3426名 津波 布良 4.5m
1923 9 2	7.5	房総半島沖	
1928 5 21	6.2	東京湾北部	江戸川河口で土壁の亀裂崩壊
1950 9 10	6.2	千葉県東海岸	一宮で堤防に地割れ
1951 1 9	6.1	千葉県中部	久留里で家屋に被害
1953 11 26	7.4	房総半島沖(房総沖地震)	館山、宮崎で墓石が転倒 津波発生
1956 9 30	6.3	千葉県北西部	安房郡で負傷者1名
1960 5 23	9.5	チリ沖	死者1名、負傷者2名、津波1.5m
1968 7 1	6.1	埼玉県中部	
1980 2 5	6.1	千葉県中部	
1983 2 27	6.0	茨城県南部	
1985 10 4	6.1	茨城県南部	
1987 12 17	6.7	房総半島東海岸(千葉県東方沖地震)	死者2名、負傷者144名
1988 3 18	6.0	東京都東部	成田で高速道路・堤防に亀裂
1989 3 6	6.0	千葉県北部	佐原周辺で屋根瓦の落下12棟
1996 9 11	6.2	千葉県東方沖	
2000 6 3	6.0	千葉県北部	
2000 7 21	6.1	千葉県東方沖	

千葉県は、日本海溝と相模トラフに囲まれ海域を震源とする大規模な地震に強く影響を受ける地理的条件にあります。

海に囲まれた千葉県では、大規模な地震の際には津波の被害を受けることが、これまでも多くありました。特に江戸時代の1703年（元禄16年）に起こった元禄地震では死者6,500名以上で、そのうち津波によって2,000名以上の人々が亡くなり、5,000棟以上の家屋が流されています。

千葉県地震被害想定調査結果の概要（平成20年6月）

想定地震	地震の規模及びタイプ等	規模	東京湾北部地震	千葉県東方沖地震	三浦半島断層群の地震
		タイプ	マグニチュード7.3	マグニチュード6.8	マグニチュード6.9
人的被害	死者数	南関東直下	東京湾岸に震度6強の地域が広がり、県土の約40%が震度6弱以上。震度7の地域はない。	茨原市、東金市、八街市、いすみ市などに震度6弱の地域が散在。震度6弱の地域は県土の約0.3%	富津市、君津市、木更津市を中心に震度6弱から6強の地域が広がり、震度6弱以上の地域は県土の約5%
		活断層			
	負傷者数	揺れ(全壊・半壊)	913 人	0 人	68 人
		火災	365 人	0 人	4 人
		急傾斜地崩壊	59 人	17 人	11 人
		ブロック塀等の転倒	54 人	20 人	5 人
		小計	1,391 人	37 人	88 人
	死傷者数合計	揺れ(全壊・半壊)	36,099 人	682 人	2,455 人
		火災	1,655 人	0 人	50 人
		急傾斜地崩壊	758 人	219 人	141 人
ブロック塀等の転倒ほか		1,893 人	685 人	170 人	
屋内収容物の転倒等		1,176 人	112 人	117 人	
小計	41,581 人	1,698 人	2,933 人		
避難者数	1日後	1,455,977 人	37,379 人	121,253 人	
	1ヵ月後	610,880 人	6,448 人	30,225 人	

千葉県では発生時に甚大な被害を及ぼす可能性のある地震について、被害想定調査を行いました。最も大きな被害が予想される東京湾北部地震では、死傷者数約43,000人、建物全半壊22万棟余と想定されました。（詳細な情報は、県消防地震防災課ホームページで見ることができます。）

※1 地震被害は、季節・時刻や気象条件により大きく変わります。ここでは、特に記載のない場合は、冬の18時、風速9m/sです。
※2 地震被害想定は、想定した地震が発生すると、どのような被害が発生するか確率、統計や過去のデータから推定したものです。

<知っていますか？津波の標識>

千葉県では、過去に大きな被害を受けた元禄地震・延宝地震の津波の浸水高を示す標識を、銚子市から富津市までの沿岸各地に184基、設置しています。また、元禄地震と同等の津波発生時の浸水予想がわかる「千葉県ハザードマップ（津波浸水）」をホームページで公開することで広く津波発生時の警戒を呼びかけており、津波被害の予想される県内市町村では、21年度までに津波ハザードマップを作成する予定です。

<津波の浸水高を示す標識↓>



津波浸水の予測図をもとに、各地の津波の浸水高を予想したもの（展示資料より）



<日ごろからの備え（千葉県防災ポータルサイトより）> (わが家の災害対策) (家庭での備蓄)

阪神・淡路大震災の6,000人を超える死者のうち、約8割の方は建築物の下敷きになって亡くなりました。人の身を守る家が凶器となったのです。また、家具・電気器具や割れたガラスなどで多くの方がケガをしました。家や家具から命を守ることを考え、家の補強や家具の転倒防止をしましょう。

古い家では、家の補強

- 信頼できる専門家に相談するのが確実です。
- 壁や筋交いを増やすだけでも、強度が違います。
- もしわからないことがありましたら、県または市町村にご相談ください。

家具の転倒防止のための補強

- 揺る時は、倒れるもの置いてない部屋が安全です。
- すぐに外に逃げられる部屋で寝ることもより安全です。
- 家具類の転倒・落下を防止しましょう。

■大規模な災害の発生に備えて、県や市町村では避難生活に必要な物資を備蓄していますが、これらの物資がすぐに届かなかったり、救援物資もすぐに届かなかったりすることも考えられますので、各家庭でも最低3日分の水や食糧などの生活必需品を備蓄しましょう。

～当面の避難生活に最低限必要な物は次のとおりです。～

水		1人1日3リットル必要です。
食糧		3日分で、簡単に食べられ、長期保存できるものがよいでしょう。赤ちゃんのいる家では粉ミルクや母乳ポンプも必要です。
毛布		寝るときや寒いときに必要です。
携帯ラジオ		情報収集に必要です。予備の電池も忘れないように。
医薬品		けがをしたときの消毒薬や、かぜ薬、胃薬など、普段使い慣れたものがよいでしょう。持病のある人は常用している薬も忘れないように。
衣類等		下着、着替え、タオル、ティッシュ、石けんなど。
軍手・手袋		
懐中電灯		
貴重品		現金、預金通帳等

- これらの他に、赤ちゃんのいる家では紙おむつなど、各家庭で必要となる物を考えましょう。
- これらの物を両手で持って避難するのはたいへん危険ですので、非常持出袋のように背負えるものに入れましょう。
- 非常持出袋と一緒に懐中電灯とヘルメット（または防災頭巾）をわかりやすいところにおいておきましょう。

柏市立図書館 こども図書館

ルポルターージュ千葉57

柏市立こども図書館が8月8日、柏市沼南庁舎1階にオープンしました。子ども図書館の単独施設としては県内で初めての開設です。利用の主な対象は、乳幼児とその保護者で、絵本・幼児向けの知識の本、低学年向けの読み物、保護者向けの育児や児童文学に関する本など約1万冊の本をそろえています。

まず、入り口で靴を脱いであがると床は明るいフローリングで、冬には一部床暖房も入ります。本棚は子どもたちが自分で本を選びやすい高さに工夫されており、ところどころに置かれたソファやいす・テーブルで、自由に本が楽しめるようになっていきます。

また、授乳室やベビーベッド、給湯室、幼児用トイレも完備されているので乳幼児が一緒でも安心して親子ともにリラックスして利用できる工夫がされています。市民ボランティアによる、“おはなし会”も毎日開かれています。



柏市立図書館こども図書館 利用案内

開館時間 9時30分～17時

休館日 毎月の月曜日（祝日、振替休日は除く）

資料の貸出対象

- ・柏市に在住・在学・在勤者
- ・隣接市の居住者

*住所、氏名の確認ができるもの、市内に通勤・通学している方は、その確認ができるものを持参してください。

貸出利用冊数

全館（柏市）合わせて、図書・雑誌10冊

貸出利用期間 2週間

柏市立図書館 こども図書館

〒277-0000 千葉県柏市大島田48-1

TEL 04-7108-1111

編集後記（日誌抄）

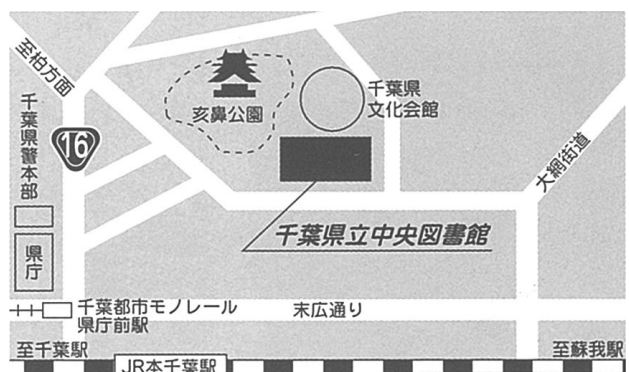
- ・8月に「24時間テレビ」チャリティー委員会より、障害者サービス用機器（拡大読書機等）の寄贈を受けました。
- ・11月18日から11月21日（4日間）にわたり、関東・甲信越静地区図書館地区別研修が本県で開催され、盛況に終了しました。

- 開館時間：一般資料室 火曜日～金曜日／9:00～19:00
土曜日・日曜日・祝日・休日／9:00～17:00
千葉県資料室・新聞雑誌室・児童資料室／9:00～17:00
- 休館日：月曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその翌日）・第3金曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその前日）・年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間

千葉県立中央図書館 TEL043-222-0116

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

〒260-8660 千葉市中央区市場町11-1



千葉文化 第二四〇号
平成二十年十二月十八日発行
発行所 千葉県立中央図書館
千葉市中央区市場町十一ノ一